

「一番のご要望だったのは
「非日常空間」の創造

名古屋市にある「黒の家」は、代々続く旧家を建て替えた住まい。

この住まいの設計を依頼された空間工房用舎行蔵一級建築士事務所の村西弘至さんは「Aさまから、はじめに出されたご要望は、「非日常を楽しめる家。住み心地などは一切無視してもらって構わない」ということ。これには、とても驚きました。たいていは、機能面や間取りなどの希望をご提示される方が多いですから」と、当時を振り返ります。

「イメージとして、タイにあるようなアジアテイストのリゾートホテルをを考えていました」と、Aさま。そのお話から、かつこよさの中にも、日々の暮らしにおいて、癒しを感じることが出来る開放的で、落ち着きのあるものにとしようと考えました。1階はメインスペースとなるリビングとキッチンを設置し、庭のある南側に大きな開口を設けました。建物自体は、ほぼ正方形なのですが、間仕切り壁を斜めにする事で、室内は台形の空間に。こうすることで、視覚的に奥行き感や広がり生まれ、実際の面積より広く感じることが出来ます」と、村西さんは話します。



- 1 広いデッキとひと続きとなったリビング・ダイニング。床材は全面ちようちよう仕上げになっていて、足触りもよいのだそう。
- 2 おばあさまから受け継いだ水屋戸棚のあるキッチン。
- 3 Aさまのご要望であったギャラリースペースは、奥が狭くなった台形の空間。奥行き感が増して見えます。
- 4 2階の寝室。吹き抜けを通じて、1階の居室空間とつながっています。
- 5 寝室からも、窓の外にある愛車を眺めることができます。
- 6 焼杉の黒の外壁が印象的な「黒の家」。長い軒は、時間の経過とともに美しい陰影を作り出します。

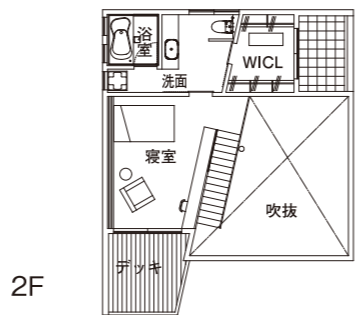
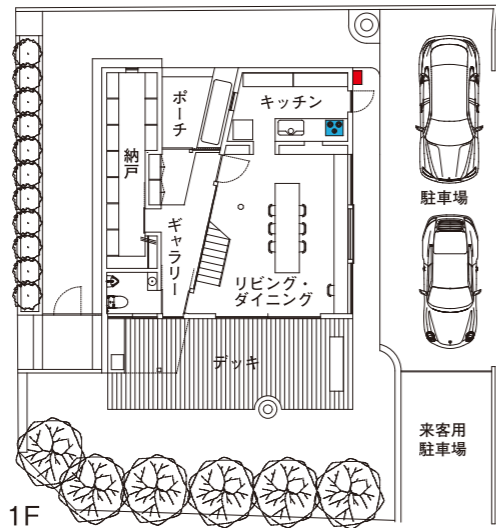


自然素材を用いた
心地よい住まい

2階は、寝室と浴室や洗面・トイレといった水まわりスペースを配置。「入浴、着替え、そして、身支度を整える」という連動動作がひとつの空間で行え、とても使い勝手がいいです」と、Aさまは微笑みます。

「1階と2階は吹き抜けを通してつながれた空間。構造としては2階建てなのですが、ワンルームのような構成となっています」と、村西さん。「梁や柱、床などに天然の無垢材壁に珪藻土などの自然素材を用いることで、心地よさを感じられるものとなりました。素材感を大切に、非日常と日常が融合した空間が創造出来たと思います」と、話します。

「デザインなど、時代の流行を追ってしまおうと、すぐに流行遅れになってしまいます。次世代に至るまで気持ちよいく感じられる建物、年月を経ることに味わいが増す住まいを創ることは、住まう人とそれを取り巻く環境のためにも、大切なのだと思います」と、村西さんは語ります。



黒の家(A邸) 縮尺=1/250

■ エコジョーズ ■ Siセンサーコンロ

導入ガス設備・システム

- ・省エネガス給湯器 エコジョーズ
- ・Siセンサーコンロ

黒の家(A邸)

- ・所在地/愛知県名古屋市・家族構成/ご本人
- ・敷地面積/267.05㎡・建築面積/79.39㎡・延床面積/100.27㎡
- ・構造・規模/木造・地上2階建
- ・設計期間/2016年2月~2016年9月・施工期間/2016年10月~2017年6月



建築家
むらにし ひろし
村西 弘至さん

2001年河野太郎と「空間工房 用舎行蔵 一級建築士事務所」共同設立。2014年平成25年度京都景観賞 屋外広告物部門「群青」市長賞受賞。2014年第2回京環境配慮建築物戸建住宅新築部門「京都市 T邸」優秀賞受賞。

- ・連絡先:空間工房 用舎行蔵 一級建築士事務所
- ・住所:京都市上京区室町通り中立法下がる花立町486
- ・TEL:075-432-3883 ・FAX:075-334-8051
- ・URL:http://yosyakozo.jp/
- ・e-mail:info@yosyakozo.jp